

## 第6章 省エネルギービジョンの課題、基本理念、基本方針

### 《概要》

省エネルギー意識調査やエネルギー消費構造調査などから、八幡浜市の省エネルギーに向けた課題と方向性を4件抽出し、省エネルギーを推進してゆく基本理念を定めました。

さらに、八幡浜市における省エネルギー推進のための基本方針として、「3本の柱」を掲げました。

### I. 省エネルギーに向けた課題と方向性

八幡浜市の地域特性ならびにエネルギー消費特性・将来予測と、市民・小中学生・事業者に対するアンケート調査を踏まえ、八幡浜市の省エネルギーに関する課題と方向性を以下のように取りまとめました。

#### 1. 民生部門、乗用車の省エネルギーに重点

##### (1)課題

- 八幡浜市では、産業部門のエネルギー消費量は大幅に減少していますが、民生業務部門のエネルギー消費量は増えています。
- 民生家庭部門のエネルギー消費量は、人口の減少幅ほどには減少しておらず、一人当たりの消費量は増加しています。
- 八幡浜市のエネルギー消費に占める運輸部門の割合は全国に比べて高く、また、人口減少割合に比べると、運輸部門のエネルギー消費量は減少していません。
- 貨物車は減少していますが、乗用車の保有数は増加しています。

##### (2)方向性

- 八幡浜市の省エネルギービジョンにおいては、産業部門の省エネルギーに過度に頼らず、商店や公共施設などの民生業務部門と、市民の日常生活での省エネルギー、乗用車の省エネルギーなど、生活に密着した部門での省エネルギーに重点を置く必要があります。

#### 2. 市民の省エネルギーへの高い意識を実行へつなげる施策が必要

##### (1)課題

- 省エネルギーに取り組みたいとの市民の意識は高いものがありますが、実際に積極的に省エネルギー活動に取り組んでいるのは半分程度となっています。  
特に女性や高齢者には、具体的にどうすれば省エネルギーになるのか知らない、という声があります。

##### (2)方向性

- 女性や高齢者に、具体的な省エネルギー方法を知ってもらい、それを日常的に実行できるようになってもらう必要があります。

### 3. 行政の率先した取組みが必要

#### (1) 課題

- 庁舎や学校などの公共施設は、民生業務部門に含まれていますが、そのエネルギー消費量は増加すると予想されています。
- 省エネルギーの推進・普及には行政の力が必要と考える市民が大多数であり、市民の行政に対する期待には高いものがあります。
- 八幡浜市の事業所は、小規模な事業所が多いため、省エネルギーのために主体的に行動するには、経済的、人的に限度があります。

#### (2) 方向性

- 行政機関自らが公共施設の省エネルギーに取り組むと共に、民間事業所の模範となり、その省エネルギーに関する知識、経験を民間事業所に波及させていくことが望まれます。

### 4. 環境教育が有効

#### (1) 課題

- 八幡浜市の小中学校における環境教育の実施率は、高いとは言えない状況にあります。
- 環境教育に対する保護者の期待も高いものがあります。

#### (2) 方向性

- 次の世代を担う若年層が、環境問題に関する危機感や、省エネルギーに関する正確な知識を持ち、省エネルギー行動を将来にわたって自ら実行できるようになることが望まれます。
- 児童・生徒が省エネルギー活動を実行できるようにするに止まらず、それを家庭・地域に持ち帰り、波及させるような形での環境教育を実施することが期待されます。

## Ⅱ. 省エネルギービジョンの基本理念

近年、化石燃料の消費による地球温暖化をはじめとする地球規模の環境問題への取り組みが緊急の課題となっています。特に京都議定書発効に伴う二酸化炭素排出量の抑制など、世界レベルでの取り組みが活発化しています。同時に、化石燃料の枯渇が目前に迫った昨今でありながら、我が国のエネルギー消費量は、生活水準の向上に伴い、一貫して増加しており、このままでは、今後もエネルギー消費量は増大することが予想されます。そのような中、地域の実状に合った省エネルギーの推進は地方公共団体にとって重要な役割となっています。

八幡浜市は愛媛県西端にある佐田岬半島の付け根に位置し、北に伊予灘、西に宇和海を望み、丘陵地が多く、海はリアス式海岸が続き、温暖で風光明媚な地域です。

古来、この地域は、打瀬船で宇和海に漕ぎ出し、遠くアメリカ大陸に渡った人々、日本の航空機の父と言われる二宮忠八、医聖とよばれた幕末の蘭学者二宮敬作を生み、愛媛県下で初めての国立銀行が創設され、紡績工場が興り四国初の電灯が灯った進取の気風にあふれる人々が住む地域です。

本省エネルギービジョンの策定にあたっては、エネルギーに関連する本市の地域特性、省エネルギーに関する技術情報、省エネルギーに関する市民、小・中学生、事業者の意識等を調査しました。その中から種々の課題が抽出され、その解決のための方向性が見出されました。これを受けて、本市に最適な省エネルギー推進計画を策定することにより、進取の気風により地域から国際的なエネルギー問題に取り組んでいくこと目指します。

私たちは、将来にわたって「安心・希望に満ちた温かなまちづくり」、「自然と共生し快適さと安全を享受するまちづくり」を推進するため、市民、事業者、行政が「ちえ」、「わざ」、「ちから」を出し合って、共に手を携えて、将来のために省エネルギーを進めていく、「進取の気風をもって、風とらえ、風おこす、省エネルギーのまち、八幡浜」を目指します。

### Ⅲ. 省エネルギー推進の基本方針

八幡浜市の省エネルギー実現のためには、市民、学校、事業所、行政が「ちえ」、「わざ」、「ちから」を出し合って、共に手を携えて、進めていく必要があります。

そのため、八幡浜市の省エネルギーは次の「**3本の柱**」で推進します。

#### 1. 省エネルギー型ライフスタイルの実現

市民、事業者は、環境や省エネルギーについて積極的に学び、日常生活の中で、細やかな省エネルギー活動に取り組み、省エネルギー型ライフスタイルの実現に努めていきます。

#### 2. 次世代を担う人材の育成

学校では、環境教育、省エネルギー教育を実施し、児童・生徒を通じて活動を家庭に波及させていきます。児童・生徒が、自主的に省エネルギー活動を行えるようになれば、省エネルギーが生活に定着し、将来にわたって、持続的、自律的に行われるようになります。

#### 3. 行政による先導・支援

行政は、省エネルギーに関する資料の提供等市民等の省エネルギー活動を支援すると共に、率先して省エネルギーに取り組み、その成果を市民等に波及させていきます。